

GP 香港 2017

参加記



2017/10/27 (金) -2017/10/29 (日)

九龍湾国際展貿中心 (KITEC)

エアアジア機内食の食べ比べ

今回のフライトではエアアジアを4回利用したわけですが、エアアジアではネットで予約すると機内食とペットボトル水のセットがわずか3USドルで購入できるので購入しない手はないよねということで注文。今回は4回とも別のものを注文してみました。まあ全部チキンで、あと基本は辛い料理ばかりですが、自分の口には合っていて幸せ。



ヤンゴン→ドンムアンの便

ML Noi's Basil Fried Chicken on Rice



ドンムアン→香港の便

Chicken Lasagne



香港→ドンムアンの便

Uncle's Chin Chicken Rice

ドンムアン→ヤンゴンの便
Pak Nasser's Nask Lemak



目次

この本について	2	バンドルを購入して開始を待つ	16
GP 香港 2017 について	2	構築開始	17
参加を決め航空券と宿を購入	2	本戦開始	18
参加パッケージとその申し込み	4	昼食と参加賞	19
宿を金澤さんと同室に変更	5	GP 香港 2017 限定トークン	21
仕事の持ち込み	5	初日通過	22
		ホテルに戻り、夕食に	22
		USB マウスをゲット	24
2017 年 10 月 26 日(木)			
出国の夜	6	旺角の夜	24
ドンムアン空港で夜明かし (4 回目)	6	日記を書いて寝る	25
2017 年 10 月 27 日(金)		2017 年 10 月 29 日(日)	
香港到着	8	朝の飲茶	26
通信を確保	8	GP2 日目の開始	27
会場へ移動	9	GP2 日目 ドラフト 1	27
イクサランドラフト ポッド 2	10	GP2 日目 ドラフト 2	29
イクサランドラフト ポッド 7	11	バッグを会場に置き忘れる	31
飲み物持ち込み禁止	11	エクスプレスで荷物の詰め替え	32
Foiled Again! ドラフト	12	空港でチェックイン	32
ホテルに入って夕食	13	201-230 ゲート駅に移動	33
ホテルで日記書きなど	14	台風の影響	34
ホテル停電	14	ゲート前で待つ	34
		ドンムアン空港で夜明かし (5 回目)	35
2017 年 10 月 28 日(土)		2017 年 10 月 30 日(月)	
朝の散歩	15	ミャンマーに戻る	36
タクシーで会場に移動し、朝食	15		

この本について

本書は2017年10月27日（金）～29（日）にかけて香港のKITEC（九龍湾国際展貿中心；Kowloonbay International Trade & Exhibition Center）で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GP 香港 2017）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。現地の金額表記は原則として通貨 HKD（香港ドル）で行いました。為替レートでは1HKD=15円くらいだったようです。

GP 香港 2017 について

GP（Grand Prix;グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GP 香港 2017（※1）は香港で2017年に開催された大会ということになります。Chainlinks Event（※2）が主催し、会場はKITEC（※3）でした。

※1 <https://hongkong.cleventsgp.com/>

※2 <https://cleventsgp.com/>

※3 <https://www.kitec.com.hk/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GPにはお金や有休に余裕があれば参加することをパターンにしておりましたが、GP 香港については、筆者が日本に居らずミャンマーに長期赴任中であることを含めて、いささか事情が異なりました。

特に6月に会社を丸々一週間休んでGPラスベガスで遊びに行った後で、自分が担当していたプロジェクトで**大失敗した**という事実があったので（その一週間は仕事に充てていけば解決できていたというものではないにせよ）、なかなか「会社を休んで次は香港に遊びに行きます」とはその火消しをやっていた夏頃には言い出しにくい雰囲気でした。

とはいうものの「日程が決まっている旅なら航空券はさっさと買ってしまおうほうが良い」という鉄則のもとで、早期特典のこともあって本戦を予約して、エアアジアで8月8日に弾丸旅行フライトを決めてチケットを予約してしまいました。

往路	10/26 20:05 ヤンゴン発	FD258	1時間 20分	10/26 21:55 ドムアン着
往路	10/27 6:35 ドムアン発	FD508	2時間 40分	10/27 10:15 香港着
復路	10/29 21:05 香港発	FD503	3時間 10分	10/29 23:15 ドムアン着
復路	10/30 7:00 ドムアン発	FD251	1時間 45分	10/30 8:15 ヤンゴン着

※ヤンゴンはミャンマーの国際空港、ドムアンはバンコク（タイ）の国際空港です。

なおミャンマーとタイとは時差が30分、タイと香港は時差が1時間あります

料金は機内食や帰りの追加荷物の料金などを込みで400ドルほどでした。まだ上司には話を通していないので、最悪で5万円をドブに捨てることになるでしょう。

同時に、直前までキャンセル可能なbooking.com（※1）で旺角の安宿を予約しました。

※1 <https://www.booking.com/>

しかしプロジェクトの火消しが終わっていなかった8月には上司にはしばらく伏せていたものの、どうやら9月も中旬になって、10月末には修羅場にはなりそうにないかな？という見込みだったため、上司に「10月27日（金）にお休みをいただきます」と申請。

もともと**有休を取得する権利**を却下することなど通常できないので、これは普通に承認されました。どうやらGP香港に行けそうな見込みです。

参加パッケージとその申し込み

GP 香港 2017 では、次の参加オプションが提示されておりました。

BASIC	HKD 700	<ul style="list-style-type: none">・ GP 本戦の参加権（イクサラン 6 パック込み）・ スリープイン（BYE 持ちプレイヤーのみ）・ GP 本戦プレイマット・ GP プロモ（大祖始）・ デッキケース・ バッグ・ ドラフト半額券（早期申し込み特典）
PREMIUM	HKD 950	<ul style="list-style-type: none">・ BASIC で得られるものすべて・ 金曜の Giant Trial（HKD 350）の参加権
PREMIUM PLUS	HKD 1600	<ul style="list-style-type: none">・ PREMIUM で得られるものすべて・ GP シンガポール 2015 のプレイマット・ 過去の ChainLink のプレイマット 1 枚・ ChainLinks 特製マグカップ・ プレミアムシート（本戦固定席）・ プレミアムペアリング・ 日曜の PTQ（HKD 280）の参加権

過去の GP ではしばしば VIP サービスの快適さなども満喫し、またこの手のサービスでは

「金を払わないで後悔するよりは**金を払って後悔**したほうがいい」という主義の自分ではありましたが、今回は海外 GP には久々に BASIC で参加することにしました。

まず到着時刻的に金曜の Giant Trial には参加できないため PREMIUM を申し込む理由はなく、日曜の PTQ は構築のため参加する気もありません。となるとプレイマット 2 枚とマグカップとプレミアムシート & ペアリングのために HKD900…はさすがに払えません。

あと、直前までドタキャンの可能性もありましたし（笑）。

宿を金澤さんと同室に変更

あとは参加を楽しみにするだけの10月15日に、金澤さんから「自分の宿泊する安宿で相部屋にしませんか」とのオファーが入ります。金澤さんプレイヤー参加だったんですね（ちなみにGP香港には日本人ジャッジは1人もジャッジ参加しませんでした）。

どうも金澤さんが予定していた相部屋メイトが参加を見合わせたらしいのですが、それはともかく、宿代を2人で割れば自分の予定していた安宿より割安でもあり、朝の会場へのタクシーの相乗りなども好都合であり、何よりも気心の知れた金澤さんとの同行は楽しげでもあるので快諾して、bookingで申し込んだ宿をキャンセル。

結果、今回は「ガーデンホテル」（※1）に泊まることになりました。

※1 <https://www.booking.com/hotel/hk/garden.ja.html>

仕事の持ち込み

ミャンマーに再入国するためのビザ取得などの準備も終わり、これでは、GP香港に参加するだけになりました。

しかし実はその頃に、9月から着手していたプロジェクトの納品予定日が10月末に設定されてしまったため、このため「10月27日に有休を取り、10月30日の朝に戻る」というプラン自体が**かなりきわどく**なった（笑）のですが、さすがに会社もいまさら「行くな」とは言えなかったようであり、GP香港行き自体は予定通りに進めました。

とはいえ10月26日に納品物すべてを用意することもできなかったので、やむなくPCを持ち込んでドキュメントの類を香港でもまとめることは必須になりました。

残念ながら今回は、ほぼ香港観光は諦めてGPだけに参加することになりそうです。

木曜の夕方にオフィスを出るので、荷造りは水曜の夜のうちに済ませました。手荷物が7kgをオーバーしていないかを、まず体重計に乗って、次に荷物を持って体重計に乗って引き算により確認（笑）。よし大丈夫。

2017年10月26日（木） 出国の夜

出発は20時5分発。ヤンゴン空港までは渋滞を考えるとタクシーで1時間は見た方が良いので、「17時のリミットでオフィスを出ますが、きりの良いようならその前に出ます」と宣言。しかし実際には間際にもやることが色々出たので、オフィスを出たのは17時を少々回る。

急いでホテルに戻ってシャワーを浴びて着替え、荷物を持って17時40分にタクシーを拾う。やはり夕方の渋滞に引っかかるも、30分かけて渋滞を抜けると、あとはスムーズに10分ほどでヤンゴン空港ターミナル1に着きました。

エアアジアのカウンターでチェックインを行うと、窓口の係員がしばらく調べたうえ「香港へのビザは？」と聞いてくる。一瞬「えっ」と思うも慌てず「日本と香港の間ではビザはいらないんだよ」と答える。相手はそれで納得したものの、今度は「香港からはどこの国に行くんだ？」と聞いてきた。**疑われています**。慌てず「ミャンマーに戻ってくるよ。ほらこの通り帰りのミャンマーの入国ビザも取得済みだ」とプリントアウトを見せる。ていうか君の目の前の端末でエアアジアの帰りの切符も購入済みという情報も出ている筈なのだが。

さらにカウンターで目の前で出国カードを書くという真似（おそらく矛盾がないかチェックしている）もして、ようやくチケットが発券された。やれやれ。にこやかにチケットを受け取りつつ「観光を楽しんでくるよhahaha」と言って去る。こういう態度だから疑われるのだ（笑）。

手荷物は6.5kg。よし重量検査パス。とはいえ帰りは確実に7kgを超えるから、帰りの便は増量オプションを申し込んでいて正解だ。ドンムアンを経由して2便ぶんの料金で5千円ほどかかるので少々痛いのだが、その場で超過料金を払うとさらに取られる以上は仕方がない。

イミグレとセキュリティーは一瞬で通過して、19時前にはゲート前に着いた。余裕。

ほどなく搭乗が開始され、20時5分、何ごともなく機はヤンゴンを発った。

ドンムアン空港で夜明かし（4回目）

ヤンゴンからドンムアンまでは1時間ちょっとのフライトであるものの、エアアジアの機内食はたったの3USDであるためネットで予約済。このため、機体が水平飛行に移るなり機内食の夕食

になり、それを食べ終わるなり回収しているうちにドンムアン空港に到着。

時差があるため 30 分時計を進めて、21 時半にシャトルバスに乗り、ほどなく空港ビルに入る。品質の良い無料空港 Wifi で接続し、ツイッターなど再開。

いつものトランスファー窓口を通過して、ドンムアン空港での夜明かしタイムの始まり。すでに 4 度目なんだよなあドンムアン空港での夜明かし。まだ一度もタイに入国してないけど（笑）。

レストランで AC コンセントをつなげる席を発見したので、いささかの仕事を行うべく入店してスムージー 165 バーツ（1 バーツは 3.5 円ほど）を注文して着席し、PC を起動（タイは日本の AC をそのまま接続可能）。しかし空港 Wifi はスマホでは普通に通信できるのだが、PC からはインターネットに接続させてくれないのを思い出した。まあオフラインで仕事を進めるしかない。2 時間ほど作業。朝までやっている店らしいが、朝までやることもない。

日付が変わる頃に小腹がすいてきたのでマクドナルドでバーガーセット 195 バーツを注文する。バーガーもポテトもおいしく頂いたが、ちょっとコーラを飲み切れないので残して終了。

明日のフライトは 6 時 35 分発。すでにゲート前なので 6 時起きでも十分だが、5 時間は眠れるかな。飛行機の中でも眠れるが、起きている理由はないし、睡眠はとっておくに越したことはない。

貧乏人にやさしいドンムアン空港では、座るためのベンチと寝るためのベンチが混在しており（手すりの有無がポイント）、寝る場所に不自由はありません。

ホテルに携帯歯磨きのセットを忘れたので、改めて売店でセットを購入。

ゲート前のベンチ一列を確保して、歯を磨いてから横になり、1 時就寝。

いよいよ明日は楽しい GP 香港の開始です。



2017年10月27日（金） 香港到着

3時に目が覚め、だいぶすっきりしたものの、寝直して5時過ぎ起き。

グラブルで遊びながら搭乗を待ち、6時過ぎに搭乗が開始され、6時半にドンムアンを離陸。予約済の機内食をおいしくいただき、眠ったりするうちに3時間ほどで香港に到着しました。時計をさらに1時間進め香港時間に合わせます。すなわち10時半、香港到着。

日本は台風で酷い状態らしいけど、香港は快晴。空港の無料Wifiに接続しつつ、11時過ぎにはイミグレを通過して入国完了。

ATMでHKD 3000を確保するところから開始。



通信を確保

まずは滞在中の通信用のSIMを求める。やはり2年前同様に、香港空港では設定をしてくれるSIM販売キャリアの店舗のようなものは見当たらなかったのですが（レンタルWifiカウンターはたくさんあります）、聞くと「セブンイレブンで売っている」とのこと。やはりそうなのか。

ユーザーが自分でSIMを買って設定するのが香港標準。

セブンイレブンでSIM購入を伝えるとプランを聞かれたので、「3日間、2ギガ、香港のみ」と答えたらうえてHKD 38を支払うと、店員はカウンターからSIMパッケージを手渡してくれて、さらにパッケージ裏面のコードリストを示しつつ「そのプランならこのPINコードを入れる」と説明してくれる。ありがたい。この情報が欲しかったのだ。

早速その場でスマホにSIMカードを入れ、PINコードを入れてアクティベート。普通に問題なくつながった。前回は散々だった香港のSIM問題は、どうやら無事に解決できたようです。

会場へ移動

まずはエクスプレスで市内へと移動するため、窓口でオクトパスカードを買います。エクスプレスのHKD 100に加えて、デポジットのHKD 50を加えたHKD 150を出して、11時半にそのまま乗車。

やはりこのエクスプレスのスピード感は最高で、20分ほどで九龍駅に着いた。ただちにタクシーに乗る。

しかし香港市内の渋滞が酷く、なかなか会場にたどりつけない。あるいは市街を通過しない「空港から会場までタクシー直行」が正解だったのかもしれないなと考えるが、考えても仕方ないので市内の風景を楽しむ。

12時10分過ぎKITECに到着。タクシーHKD 90。



あとは会場に入るだけだと思ったら KITEC 内の会場の場所が分からずに、無駄にエレベーターで最上階まで上ってからエスカレーターで降りたりしてしばらく迷う。

困って公式サイト案内をネットで見たら会場のフロアが明示してなくて**キレそう**になる。

結局は2年前と同じ3階ホールであったのだが、20分くらい浪費してしまった…12時半、入場。

まずは受付でパスを受け取ったうえ、ただちにフライトドラフトのポッド2にエントリーする。

早期申し込み特典の「フライト半額3回」権があるので、ドラフト1回がHKD 75のお値ごろ感（それでも千円以上してるけど）。

さらにバイヤーブースでイクサランの「バンドル」を求めるも、売っていない。明日に入荷するというショップが1軒あったので、明日に買うしかないな。カードリスト冊子はともかくデッキボックスとして今日から使用する予定だったのだが仕方ない。

その他、バイヤーでダイスセットやライフメモやデッキケースやペンを購入。合計HKD 240。

イクサランドラフト ポッド2

会場に居た金澤さん（LCTシールドをプレイ中）と雑談などして待つうち、8人が揃ったので13時過ぎにドラフト開始。初めて紙のイクサランに触れて嬉しい。

1-1 《レギサウルスの頭目》。本日は赤緑の恐竜で決め打ちすることにして、どしどしピック。

2-1 《殺戮の暴君》。だだつよ神話レア。ストレートにデッキに合っており、小躍りして取る。これはいい感じじゃね？

あと《勇敢な妨害作業員》も拾うが、これはどうでもいいな。

《レギサウルスの頭目》
《殺戮の暴君》
《勇敢な妨害作業員》

獲得レア

Creatures: 16	Spells: 7	Lands: 16
《深根の戦士》	《確実な一撃》	《山》 * 8
《イクサーリのト占師》 * 2	《襲撃》	《森》 * 9
《イクサーリの守り手》	《継ぎ当ての翼》	
《激情の猛竜》	《恐竜暴走》	
《開花のドライアド》 * 2	《新たな地平》	
《貪欲な短剣歯》	《勝者の戦旗》	
《猛竜の群れ》	《太陽鳥の祈祷》	
《葉を食む鞭尾》		
《原野を目覚めさせる者》		
《嘔み付く帆背びれ》		
《レギサウルスの頭目》		
《太陽冠のハンター》		
《殺戮の暴君》		
《巨大な戦慄大口》		

ちょっと除去が薄めだけど、いい感じ。5マナ以上を連打できれば勝てそう。

構築デッキ

Round1 Wangさん 黒緑 O××

G1 ライフ3点まで追い込まれるも、押し返して勝ち。

G2 負け。

G3 4マナ以上の呪文を引かず、マナフラッドで負け。

ざんねん！いいデッキだと思ったけど乗り手が弱かった。シングルエリミなので終了。

イクサランドラフト ポッド7

負けると15時前。HKD 75を支払って、ただちに次のドラフトにエントリー（その時点でエントリーは4人）して、やがて立つ。

《骨塚協議》
《剣呑な交渉》
《太陽鳥の祈祷》
《ティロナーリの肌変わり》

1-1 《骨塚協議》で黒スタートし、最終的には青黒海賊になるも、途中、レアに引かれて黒赤にするかとふらふらするも、除去やクリーチャーが全然流れてこないで青黒に切り替えるぐちゃドラ。

獲得レア

あと《骨塚協議》の効果勘違いしていてデッキに入れなかった。双方の墓地から拾えるのね。

Round1 Ellosさん 白赤 ××

当然の敗北。シングルエリミなので終了。

飲み物持ち込み禁止

GP会場はKITECの3階にあり、2年前と変わらず真下の2階にセブンイレブンがあったので、待ち時間などに会場前のエレベーターでさっと下がって飲食物を買いに行けます。これは便利。このため当然ながら自分もペットボトルのドリンクを買いに行っていたりもしたのですが、今回、どうも会場への**飲み物持ち込み禁止**という決まりができたらしく、飲み物を持ったまま会場に入ろうとすると入り口の警備員から「注意」されることが判明。まあその場で「破棄」をしないと入場できないということでもなかったんですけどね…。

しかし釈然としません。今回、この規則を導入したのがKITECかChainLinksなのか知りません（ChainLinksならクレーム対象ではあろう）が、会場内に1日居るのに、プレイしながら喉の渇きを潤せないとか、ありえないよね。百歩譲って「持ち込み禁止」にするにしても、それならそれで会場のエリア内にウォーターサーバーなり飲料販売所を設けて欲しいです。これは減点。

気を利かせてか、ペットボトルの水を置いて売っていたバイヤーは居たので、机の上にペットボトルを置きながらプレイしてはいけないというものでもないようです。謎の禁止令。

Foiled Again! ドラフト

すでに 16 時を回っており、さわけんらも誘って Foiled Again! ドラフトにエントリーする。

HKD150。正直なところ最近の Foiled Again! ではしょぼいカードしか貰ってないのだが、まあお祭りのようなものであるし「プッシュもワンちゃんあるで？」とばかりに参加。

1-1 レアを無視して《海賊のカットラス》。ほぼ青黒海賊に
決め打ちでピック。

《幻惑の旋律》
《突き刺すケラトプス》

2-1 《幻惑の旋律》。青である以上、もちろん即取り。

3-1 たいしたアンコモンやコモンがなかったので、
《突き刺すケラトプス》を一応カット。

獲得レア

それほど悪くない感じだが、どうかな？

Creatures: 14	Spells: 10	Lands: 16
《這い回る心止虫》	《溺死者の行進》	《島》 * 7
《難破船あさり》	《卑怯な行為》	《沼》 * 9
《自暴自棄の漂流者》 * 2	《風と共に》	
《凶兆艦隊の貯め込み屋》	《板歩きの刑》	
《指名手配の獄道者》	《欲望の深み》	
《セイレーンの見張り番》 * 2	《弱者成敗》	
《巧射艦隊の拷問者》	《海賊のカットラス》	
《流血の空渡り》	《吸血鬼の印》	
《嵐を変容する者》	《幻惑の旋律》	
《凶兆艦隊の侵入者》		
《深海艦隊の殺し屋》 * 2		

構築デッキ

Round1 Liさん 白赤緑 OO

気持ちよく回って勝ちました。

Round2 さわけん 赤黒 xx

さわけんにはたすら高速でボコられるだけの人生でした。 **9841**。

Round3 Chnaさん 青緑 OO

気持ちよく回って勝ち。

結果 2-1 のまあまあの結果。しかし案の定、貰ったフォイル3枚はどうでもよいものでした。

ホテルに入って夕食

19時。これで今日、会場で遊べるイベントはすべて終わったので撤収することにする。

自分は金澤さんとタクシーに乗って、旺角の北の水渠道へ。さわけんらは旺角の南の油麻地へ。

一応「落ち着いたら合流して飯る？」と声をかけ、その場合はあとで連絡をつけることにした。

今回のホテルは金澤さんに相乗りで自分はまったく調べていなかったの、夜でもあり現在地がまったく分からないまま、タクシーを降りて金澤さんについて行ってホテルのビルに入る。

エレベーターで8階に。すでに金澤さんがチェックインを済ませカードキーも2つ入手していたのでフロントでも何もなく通る。ていうかこのホテルは、どうもフロントに人が常駐していないタイプの安宿のようですね。香港あるある。

部屋は広くはなくて机もないのでPCはベッドの上で操作するしかないようでしたけど、清潔感もあり悪くはなかったです（そういえば部屋の写真を撮らなかったな…）。

部屋に荷物を置くなり、腹が減ったので飯を食いにいくことにした。さわけんとの約束はどうなった（笑）。当初は「火鍋！」を主張するも、少し歩いても良さげな店がなかったので目標を**がつつり肉が食いたい**に修正しつつ、20時半、手近な店に入る。謎肉でないちゃんとしたお肉おいしいですmgmg。金澤さんとシェアしつつ食べる。あ、さわけん「もう飯を食ってる」という連絡は入れました。



ホテルで日記書きなど

おいしく食事を済ませて 21 時にはホテルに戻る。まだ夜遊びが可能タイムではあるが、この本のためにも対戦記録はその日のうちに書いてもおきたいし、いささか仕事も進めたいので、今日はおとなしくコンビニで飲み物など買ってから部屋に戻り、先にシャワーを使わせて貰います。

まずは今日組んだデッキの記録と、ライフメモの記録をもとに戦績メモを記録。いつもはさらに体裁を整えて DiaryNote に掲載するまで当日のうちにやってしまうのですが、今日はその気力がもう湧かないし仕事も進めたいので、DiaryNote へのアップは諦める。

いちいち書けなかったものの、実は今日の昼も対戦までの待ち時間が 20 分くらい作れそうな場合には、空いている席に座り PC を開いてちょこちょこ SQL を書いていたりしたのです。

そんなわけで仕事も少しは進めようと試みるも**猛烈な睡魔**。まあ昨夜は空港で 3 時間くらいしか寝てないし無理っぽいかなあ…と思いつつ、冴えない頭を働かせて手を動かします。

ホテル停電

ところがそんな 22 時 20 分にホテルが**停電**して真っ暗になる。ミャンマーでは慣れっこの停電でしたが、へえ、香港でもこんなことがあるんだ。

廊下がざわざわしていたのでスマホを懐中電灯代わりにして廊下に出てみて、他の宿泊客同様にフロントを覗いてみるも、このホテルはフロントにスタッフが常駐しておらず、呼び出しの類も自分にはよく分からないのでどうにもならない。

さすがにもう寝てしまうことにする。
横になるなりたちまち爆睡。

気がつくと荷物の中に入れていた香港の
エロ本というか、エロ広告冊子。

「これ日本の AV 女優ですよね」
(金澤さん談)



2017年10月28日（土） 朝の散歩

6時には目が覚める。ベッドで7時間も眠れたし、爽快そのもの。さあ GP 本戦がんばるでー！
まだ会場に向かうのは早いので、すでに起きていた金澤さんを部屋に残して周囲をぶらぶらすることに。1人でもホテルに着ける程度には周囲の地理関係も掌握しておきたいしね。

というわけで彌敦道（ナイザンロード）の方に向け歩きはじめる。ほどなく通りに出られた。ほとんどの店はまだ閉まっているか準備中だったが、列ができていた店が1軒あったので自分も並んで買ってみる。HKD 9。蒸しパンか？後で食べよう。そのままブロックを一周して7時にホテルに戻れた。よし地理把握。あとは夜に1人で戻れるかな。



デカデカと「華恩酒店」とあるが、僕らの宿泊しているのはそのフロアの1つにある「花園酒店」。これも「香港あるある」。

タクシーで会場へ移動し、朝食

すでに金澤さんも準備ができており、朝食はKITECの施設内で食べることにしたので、ただちに部屋を出て彌敦道まで出て7時10分、タクシーを拾う。

車中で、さっき買ったものをつまむ。聞かないで買ったけど中身はハム玉子入りのパンでした。うんおいしいです mgmg。HKD 9 なら十分なお値打ち。

タクシーは15分ほどで着きました。早い。

KITECは24時間開いているものの、この時間に朝食を出している店はそれほど多くありません。4年前にうまかった朝食セットの店を少し探し施設内を歩くも空振りだったので、安定のマクドナルドで済ませることにしました。

肉入りヌードルに、コーラとハッシュポテトのセットでHKD 30.8。信じられるかい…これマクドナルドの朝食セットメニューなんだぜ…。

ハッシュポテトは安定の美味しさだが、やはり朝からヌードルはちょっと重め。てゆーか、さっきパンを1個食べたんだから重いに決まってるな（笑）。スープはさすがに残した。



バンドルを購入して開始を待つ

朝食を終える頃に8時になったので会場に移動。まだ正面の入り口は開いていなかったが、その横の入り口からは入れるという謎のスタイル。

さっそく昨日「バンドルが入荷する」と言っていたバイヤーに行くと、果たしてバンドルが6個入った段ボール箱を開封し選ばせてくれた。さて今日の引き運はどうか。お値段HKD 300。

バンドルを買う目的は例によって「対戦相手が中文のカードを使用してきた際のオラクル代わり小冊子」なのですが、同梱されている10パックで良いレアが引けるだろうかというのも大きい。

さっそく開封。おっ…これはかなり「当たり」の箱のようですよ。元取れ感。こんな所で今日の引き運を使っているんですか（笑）。

バイ持ちスリープイン組はどうやら本戦の案内を終えた9時半から構築開始可能になるらしいので、あとはそのまま待ちます。

《残骸の漂着》
《ヴラスカの侮辱》
《絶滅の星》
《殺戮の暴君》
《切り裂き顎の猛竜》
《原野を目覚めさせる者》
《秘宝探究者、ヴラスカ》
《アズカンタの探索》
《原初の呪物》
《氷河の城砦》

獲得レア

構築開始

9時5分、すでに着席した本戦バイ無しプレイヤー向けに、リックルドのアナウンスが開始されました。中国語によるアナウンスは無しで、英語版のアナウンスのみで済ませる模様。さすがにこのへんは香港ならではのですね。物凄くゆっくり喋る日本人にもやさしいリックルド英語。

9時25分、1バイプレイヤーの構築用座席リストが掲示。この方たちへの着席とアナウンスが全部終わり次第、2+バイプレイヤーへの案内があるようだ。しばし待つ。

9時30分、2+バイプレイヤーの列ができたので並ぶ。受付でハンス先生がPCのリストを見ながら、基本地形に

「325」と書いたものをくれる。これが構築席番号らしい。移動して着席。

そのまますでに構築を始めている本戦プレイヤーを横目に見つつ少し待つが、いささかの齟齬があったようで、やがて「構築席はこっちになりました」との案内があり、移動。

9時45分、着席して目の前に配られたメディア同意書に署名をし、さらにほどなくチェック済のパックが配られて、構築開始。さて、強いプールかなー？ どうかかなー？

まずはレアチェック。うーん…。やはり今日の引き運をバンドルで使い切ったかな？

アンコモンとコモンも特筆すべきものがさほどないし除去も薄い。ともあれ強レアを生かすべく、部族シナジーにあまりこだわらずに白黒のカードをかき集める。必然的に吸血鬼が多めだがほとんどシナジーを生かしているとは言えない。苦しいな…。

さらにあからさまに除去が足りないなので、1枚しかなかった赤の3点火力も投入してタッチ赤にする。正直、あまり行ける感じがしないが、さてどうなるかな…。

10時25分、デッキリストを提出して構築終了。



《穢れを灰に》
《残骸の漂着》
《夢呼びのセイレーン》
《凶兆艦隊の荒廃者》
《剣呑な交渉》
《竜鬚の山頂》

獲得レア

Creatures: 14

《猛竜の相棒》
 《自暴自棄の漂流者》
 《日の出の使者》
 《駆り立てる僧侶》 * 2
 《巧射艦隊の拷問者》 * 2
 《流血の空渡り》
 《帝国のエアロサウルス》
 《血潮隊の聖騎士》
 《プテロドンの騎士》
 《深海艦隊の殺し屋》
 《血潮隊の司教》
 《凶兆艦隊の荒廃者》

Spells: 10

《鉤爪の切りつけ》
 《吸血鬼の士気》
 《卑怯な行為》
 《稲妻の一撃》
 《無情な略奪》
 《崇高な阻止》
 《残骸の漂着》
 《吸血鬼の印》
 《依頼殺人》
 《闇の滋養》

Lands: 16

《平地》 * 6
 《沼》 * 7
 《山》
 《竜鬚の山頂》
 《未知の岸》

構築デッキ**本戦開始**

正午には2回戦も終了。いよいよ僕の戦いが始まる。

なお GP 香港では「オンラインペアリング」のシステムがあったようなのですが、どうも Facebook のアプリを登録しなければならないという仕様だったようで、試してもうまくいきませんでした。

単純に URL をブラウザで表示させるようにして欲しかったなあ。

Round3 Charmさん 白緑 OO

まずは相手の事故もあって快勝。

1回戦の最中に、今朝バイヤーブースで買ったばかりのウルトラプロの新品のスリーブにひどい皺が出ていて、**裏から区別が可能**であったことに気がついたので、無地のスリーブを買い替えて入れ替える。こんなのでマークドを取られたくないからね。金返せと言いたい気分。もう正午を回っているがまだ腹は減らない。さすがに朝飯が重かった。



Round4 Luさん 黒緑 O××

3-0なので48番テーブル。たぶんここからは落ちる一方w

いい感じで殴り合って1勝1敗するが、3戦目で互角に押し合っている状態で相手が出したのは《殺戮の暴君》。うん、無理ですそれ。

Round5 Zhaoさん 青黒 ×O×

G1 《風と共に》を張った相手に押され押されするも、除去の《依頼殺人》を手札に抱えている状態でやっと待望の5枚目の土地を引いたのだが、うっかりこれをインスタントと勘違いしてしまってターンを渡したあとで「あ」とミスに気が付く。これで打点負け。

G2 快勝。

G3 早々に2体に《風と共に》を張られて除去もできず8点クロックで負け。

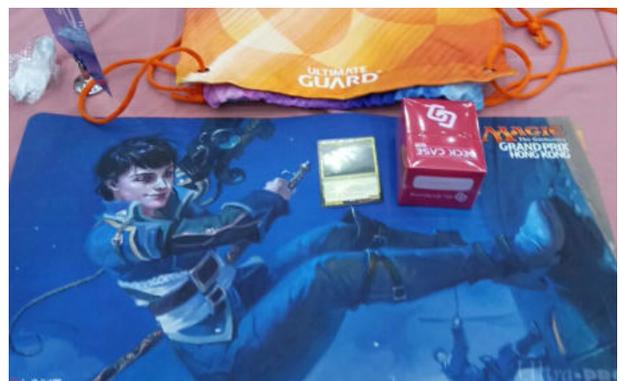
昼食と参加賞

5回戦がだいぶ早く終わると15時。そろそろ空腹を感じてきたので足早に2階のセブンイレブンへ。サンドイッチとドリンク、それに後でつまむためのポテチを購入。合計でHKD 41。意外としたな。

サンドイッチを食べてもまだ時間があつたので、受付に行き参加賞の一式を貰う。

オレンジの袋に入った本戦プレイマットと、デッキケース。それに大祖始のプロモ。正直なところ大祖始のプロモは北京とベガスで貰いまくっているのであんまり嬉しくない。

6回戦の座席が出たので、移動する。



Round6 Sakturinakasiさん 白赤 ×○○

- G1 負け。
- G2 まあ勝ち。
- G3 相手の土地が2枚で止まって勝ち。This is MAGIC。

これで4-2。まだまだ行けるよ！

空き時間に日本サイトのカバレッジを読む。本戦プレイヤーは731人。うち日本人プレイヤーは130人らしい。6人に1人は日本人。まあ実際、そこかしこで日本語の会話が聞こえる。

16時を回るもまだ始まらないので、さっき買った香港カルビー製のポテチを開封してつまむ。パッケージの色から味噌味を期待したのだが、デカデカと書いてある通りシンガポールのラクサ(Laksa)味だった。想像と違ったため口に合わないなとも思ったが、少しつまんだ金澤さんによれば「うん、ラクサの味ならこうだよね」とのこと。

Round7 タナカさん 白青 ○××

本日初の日本人プレイヤーとの対戦。このため日本語でなごやかに対戦する。

- G1 全体にかなり押されつつ、こちらのライフが3まで追い込まれた所で相手が数体の総攻撃をかけてきたので、ここで手札の《残骸の漂着》が炸裂。相手は頭を抱える。脳汁が出た。飛行3/3の1体だけで殴られていても使わざるを得なかった所なので、そうされていたら、次のターンに残りで殴られて負けていたところではあった。
- G2 互いに地上にずらずらと並べつつ、ダメージレースではこちらがやや有利目。特にこちらが《プテロドンの騎士》で一方向的に空から3/3で殴れる状態になり、かつ相手のライフが5、こちら手札に《吸血鬼の士気》があった時には思わず「次のターンで勝ったな」と思った。しかし相手のターンでの相手の攻撃に対し、まだ自分のライフはそこそこ残っていて本体に通しても大丈夫だし他にブロッカーが居たにもかかわらずこれを《猛竜の相棒》で相打ちを取ってしまう。勝ちを確信した自分のターンで《プテロドンの騎士》で攻撃に行き、さらに相手の確認を待たず《吸血鬼の士気》で+2/+2してドヤ顔をするも「飛んでませんよ」と相手に言われてから「あ」と気が付く。《猛竜の相棒》が死んでいたのも、自分は恐竜をコントロールしていなかったのもでした。5/6に打ち取られて唯一の飛行戦力が死亡。

その後の殴りあいでは結局、負け。《猛竜の相棒》をブロックせず温存すれば普通に勝っていたゲーム（そしてマッチ）を明白に落としてしまった。このプレイについては、後ろから見ていた金澤さんから「さすがに**あれはない**」とさんざんな呆れ評。うん、そーだよな。

G3 すでに勝機を逃した後のしおしおのプレイで、負け。

なお対戦相手のタナカさんこと田中宏直さんは、何と2週間後のGP 上海で準優勝しました。ここで勝っていれば自慢できたのに！（笑）

Round8 トンさん 青赤 ×OO

本日初の（そして唯一の）中文カードを使ってきたプレイヤーの方でした。このためジャッジに許可を貰ったうえ、バンドルの付録の小冊子を開いて見慣れないカードのテキストを確認します。やはり買って良かったバンドル。

G1 こちらの土地が2枚で止まって負け。

G2 まあ勝ち。

G3 相手の土地が2枚で止まって勝ち。THIS IS MAGIC。

GP 香港 2017 限定トークン

これで5-3。次の最終戦で勝てれば2日目に進出の運び。さてどうなるかな。

いささか時間があつたので、バイヤーブースをぶらぶらする。

RK Post 先生のブースを覗いていたら白木原さんから「このブルース・リーの兵士トークンはGP 香港 2017 限定ですよ」と言われたので、これはあるいは日本土産にと購入していくことにする。5枚セット価格で買うことにして、覗いてみるとトランプ大統領ネタもあつたのでそれも購入。あと、ポケモンのフシギダネは女房への土産。



初日通過

Round9 タケシタさん 白黒→赤緑 OO

最終戦は日本人の方との対戦でした。

カトラス2本積みの攻撃力に目をむいたデッキでしたが、回って勝ち。

聞くところによれば相手はまず5-0してから、ここまで3連敗して、そしてとうとう初日に通過できなかったとのこと。あらまあ、そんなこともあるのか。運が悪いものだなあ。

その方はお友達と話していて「ゲンが悪いのでこのデッキは全部ゴミ箱に捨てる」「(友達に)ゴミ箱に捨てたあとでレアを拾っていてもいいよ」とか言っていた。気持ちは分かる。

ともあれ、これで自分は久々に**GP2日目に進出**です。無料ドラフト2回をゲットだけ！

リミテッドのGPで2日目に進出できたのは3年前のGP台北以来で、ついでに言えば初日通過ラインが6-3になってから初めてのリミテッドでの通過でした。

これで明日はサイドイベントには出ないことが確定したので、昨日稼いだプライズポイントを賞品に変換してしまうことにしました。

照会してみたら80ポイントあったので、プライズリストを見て「GPのTシャツ」をゲット。自分への土産の記念品です。

使わないことが確定したフライト半額権が1つ余ったものの、念のためこれを他人に譲渡できないかと確認すると、やはりこれはIDに紐づいていて不可とのこと。

仕方ないけど、やっぱりプライズやバウチャーは紙の券のほうがいいな。



ホテルに戻り、夕食に

本戦が終わると19時半を回ったので、金澤さんと会場を出てタクシーでまずはホテルに戻る。

それではこれから今夜の夕食はどこに行きますか…という話になったわけですが、ここで「USB

マウスを買いたい」という話を自分がします。今回はノート PC を持ち込んで合間に仕事を進めるということをやっているわけですが、どうも使用していた USB マウスが使えなくなってしまったのでした（たぶん断線）。マウス無しでも中央のパッドで操作はできるものの、思うように操作できないストレスはありますから普通に新品を買おうとしたわけです。そのへんのコンビニにはマウスまでは置いてなかったようでした。

ネットで香港の電器屋を検索すると、旺角駅の近くに 22 時過ぎまでやっているチェーン店の支店などがあったようなので、旺角まで彌敦道沿いに南下して電器屋と飯屋を探ることになりました。一応本日も「火鍋」を主張するも、途中にあった店は「高いよね？」とパスするなどしたうえで 20 時 40 分、旺角の電気街とおぼしきブロックの中にある飲食店に入ります。

飲み物と「2 人飯セット」HKD 158 というのを注文してセットの選択式メニューの中から皿をチョイス。店員のおススメや説明を聞いたり、あるいはよくわからないままに適当にチョイス。あとは運ばれてきた皿を 2 人で分け分けしつつ食べていきます。



メインのスパイシーチキン。うんおいしいです mgmg。

ライスを白米と油米で選択できたので「油米って何だろう」と思いつつ半分ずつ分けることにして両方注文。油が炊き込んである？



うんおいしいです mgmg。



店員お勧めの海老餅。

チヂミを思い出す外見ですが、揚げてあります。

うんおいしいです mgmg。

来るものがどれもおいしい。幸せ。

香港はこれだから最高ですね。

メニューを確認しつつ、あと野菜が1皿あったはずだよなあ…と思うも、なかなか来ない。痺れを切らして聞いたら、店員がそれを聞くなりエレベーターから皿を取り出して置いてくれた。まだ暖かかったのではあるが、出すの**忘れていた**のかも（笑）。油で炒めてあるこの野菜、おいしいんだけど一通り満腹めになってからだと少々重い。ていうかやはり最初に来て欲しかったなこの皿（笑）。分けて完食。



ドリンクと合わせておひとり様 KHD 79 ほどで満腹。うん、これは満足だ！

USB マウスをゲット

食事を終わると 21 時半。まだ店は開いているので、USB マウスを求めて電気街をうろうろする。しかし何というか…通りに面した店ではスマホと iPhone と iPad とアクセサリしか売ってません。ノート PC を並べている店がありません。時代も変わったなあ。

まずはノート PC のありそうな店を探して、電器屋の集合ビルらしい所に入り、さらに上の階へ。PC はないもののそれっぽい雰囲気のお店に入り店員に聞いたら、果たしてワイヤレス USB マウスを引っ張り出してきた。問答無用で買う。確か HKD 90 くらいだったと思う。

旺角の夜

これで基本ミッションは終わるも、明日は会場を出て空港に直行して帰るだけなので、もう少し観光をしておきたくなったので、金澤さんと別れて旺角の街をぶらぶらすることにした。小一時間ほど市などを覗きながら楽しく歩く（特に買ったものはなし）。

いわゆる風俗ゾーンも通過するも、さすがに利用をするでもなく。普通の足マッサージは受けようかなー、とも思ったのですが、別に足は疲れているわけでもなかったのでそれもパス（実際、ほとんど歩いてません）。

一通りぶらぶらと香港の夜景を楽しんだうえで、22時を回る頃には旺角を離脱してホテルに向かいました。

「おとこのらしえん」！
一瞬、なんのことかと思ったのですが
「男の樂園」ですね、これ（笑）。



日記を書いて寝る

コンビニで飲み物を買ってホテルに戻ると22時半（金澤さんは居ました）。

飲み物など飲んでくつろいだ後、例によって、まずは本日の対戦日記のメモを忘れないうちに取ってしまいます。プレイミスばかりで嫌になる内容です（笑）。特に7回戦が酷い。記録を読み返すと、明らかに勝てるゲームを落としているので、こういう所を雑にプレイせずに丁寧に拾っておけば、もう少しは勝率が上がって強くなれるのかなあ…とは思いました。

昨日はデッキの内容も記録したのですが、今日は面倒になったので、本戦デッキ全部をデッキケースに区別できるように突っ込んで済ませることにしました。それで十分。

それから例によって、いささか仕事の方も進めようかな…とも思ったのですが、昨夜ほど眠くはないものの、~~もう仕事なんてどうでもいい~~すでにこれだけ進めておけば、全部終わらないで月曜を迎えても何とかなるだろうと判断しつつ、**明日もGP本戦を戦い抜かねばならない**と自分に言い聞かせて、もう寝てしまうことにしました。
シャワーを浴びて日付が変わる前に、就寝。

2017年10月29日（日） 朝の飲茶

6時半、起床。今朝は金澤さんと飲茶での朝食とし、そのまま会場に直行するので、もうホテルには戻らない。このため2人とも荷物をまとめ、精算は終わっておりフロントに人も居ないのでカードキーを室内に置いて行ったうえでドアを閉めて出る。そのまま荷物を持って彌敦道に出て、7時20分には金澤さんの知っていた飲茶の店「倫敦大酒樓」に入る。なかなかちゃんとした店構えで、料金を心配しなくもなかった（笑）。

最初に何点かを紙にチェックして注文し、さらにワゴンで来たものを適当に選んでつまむ。



まずはシューマイと餃子からスタート。うんおいしいです mgmg。

なんのへんてつも無いお粥。これがまた大当たりのうまさで、割とボリュームがあったものの、2人で分けおいしく完食。

最後に小籠包でしめる（表紙）。
うん、おいしいおいしい。



ご馳走様でした！

ロンドンロンドン楽しいロンドン愉快的ロンドン。やはり楽しいなあ、飲茶。

飲茶は文句なく楽しいのですが、とはいえ2人だと同じ点心を2個ずつ食べる羽目になるので、やはり3~5人で来たい所ではあります。でも1人で入るのは余計に無理なので、誘ってくれてありがとう金澤さん。気になるお値段は、2人でHKD 134。うん、余裕余裕。ていうか1人で千円なら安いでしょ。飲茶を楽しんで8時。GP 香港2日目の開始まであと1時間。うん、余裕。

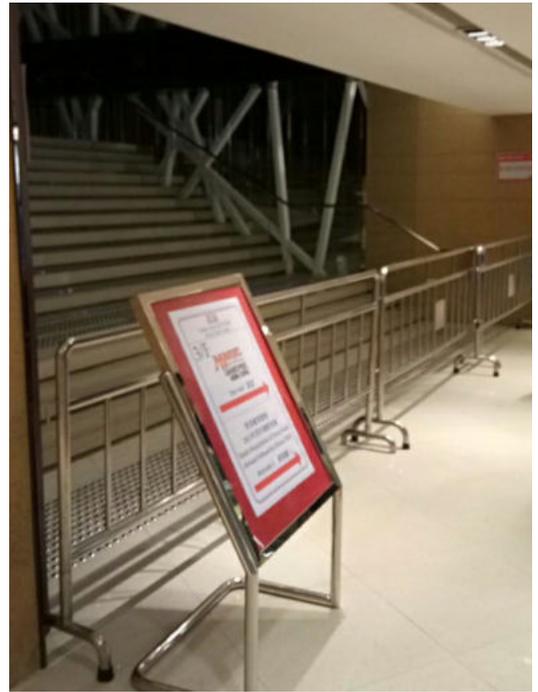
GP2 日目の開始

そのままタクシーを拾って KITEC へ。8 時 20 分には着きましたが、まだ会場が開いていません。

少し待って入場。昨日のスタンディングの掲示を確認。

自分は 184 位で通過していました。

9 時になって、2 日目のシートオールが掲示されたので着席します。自分は 23 番ポッドの 8 番でした。同卓に日本人は居ませんでした。



GP2 日目 ドラフト 1

1-1 《太陽の化身、ギシャス》。を。こんなのもう赤緑の恐竜で決め打ちしかないよね（笑）。生物と除去を取っていく。

その意味で迷わずピックができたものの、上かぶりのためかパーツが足りず白を足す羽目に。ダメかなー。

《太陽の化身、ギシャス》
《征服者のガレオン船》
《陰鬱な帆船》

獲得レア

Creatures: 17

《火の祭殿の守り手》

《深海艦隊の扇動者》

《巢荒らし》

《イクサーリのト占師》 * 2

《激情の猛竜》

《群棲する猛竜》

《貪欲な短剣歯》 * 2

《プテロダンの騎士》

《不動のアルマサウルス》

《結束した角冠》

《猛竜の群れ》

《輝くエアロサウルス》

《噛み付く帆背びれ》

《巨大な戦慄大口》

《太陽の化身、ギシャス》

Spells: 6

《襲撃》 * 2

《火炎砲発射》

《押し潰す梢》

《征服者のガレオン船》

《輝く報復》

Lands: 17

《手付かずの領土》

《未知の岸》

《平地》 * 3

《山》 * 6

《森》 * 6

構築デッキ

Round10 Kevinさん 赤緑 O××

G1 回って勝ち

G2 土地が3枚で止まって、こちらのターン。こちらは2/3の《群棲する猛竜》とあと1体。

対戦相手は2/2を立てており手札には《襲撃》。従って襲撃で猛竜が格闘をすればこちらはフルパンできるうえ土地も伸びる。これだな、と思いつつ襲撃をキャストして格闘して対戦相手の2/2を除去したうえで、たたみかけるように攻撃クリーチャーを指定…して「あ」。

あ…ありのまま今起こったことを話さずせ！

「おれは土地を伸ばしたいから格闘呪文を使ったのに、土地サーチの誘発を解決しないまま攻撃宣言に入った」

な…何を言ってるのか分からねーと思うが、おれも何をしているのかわからなかった…。頭がどうにかなりそうだった…。

下手だとかプレイミスだとか、そんなチャチなもんじゃあ断じてねえ
もっと間抜けなものの片鱗を味わったぜ…。

一応、相手に攻撃前に巻き戻して土地サーチについて許可を求めるも、当然ながら「NO」。こちら、にこやかに「Yes, Of course. You are right. This is Professional Level」と答えてそのまま続ける。こんなことをやっていたのでは勝てるわけがありません（笑）。

G3 普通に殴り合いのすえ、負け。

2戦目で土地を伸ばしていたら勝てたかどうかは分からないけど、さすがにミスのないプレイを心がけたいものだなー。

Round11 Yuさん 青黒海賊 OO

G1 回って勝ち

G2 回って勝ち

相手の海賊を気持ちよく踏み散らかして勝ち。ミスもなかったと思う。

Round12 Yuさん 青緑マーフォーク ×O×

G1 回されて負け

G2 回って勝ち

G3 土地が3枚で止まって負け。ちかたないね。

第1部は1-2で終了。乗り手がマシなら2-1はできたんじゃないかと思う。

12時40分、昼飯にしよう。手早くマクドナルドに行って、普通のセットを購入してドリンクは鞆に隠して持ち込んだうえで、会場内でmgmg。

少し待つうちドラフト2のアナウンスになりました。今回は24番ポッドの8番。ポッド内に他の日本人1名。さて今度はいいドラフトができるかなー。13時15分、ドラフト開始。



GP2日目 ドラフト2

1-1 《皇帝の先兵》。まあ、弱くはない。今回も緑か。

2-1 《アングラスの匪賊》。取ってみる。重いかなー？

3-1 《根縛りの岩山》。色が合っているので取る。

結局、赤緑か白赤緑かを逡巡しつつ、最終的には赤緑タッチ白。

なお《皇帝の先兵》はもう1枚回ってきたので取った。

《アングラスの匪賊》ももう1枚回ってきたのですが、さすがに2枚は入らないので送る。

《アングラスの匪賊》
《皇帝の先兵》*2
《根縛りの岩山》

獲得レア

Creatures: 16

《火の祭殿の守り手》
《深海艦隊の扇動者》
《ティロナーリの騎士》
《アソカンの射手》
《開花のドライアド》
《結束した角冠》
《鉄面連合の海賊》
《猛竜の群れ》*2
《皇帝の先兵》*2
《葉を食む鞭尾》
《輝くエアロサウルス》*2
《怒り狂う長剣歯》
《アングラスの匪賊》

Spells: 7

《向こう見ず》*2
《軍団の裁き》
《火炎砲発射》
《押し潰す梢》
《新たな地平》
《決別の砲撃》

Lands: 17

《根縛りの岩山》
《平地》*3
《山》*7
《森》*6

Sideboards:

《両手撃ち》

構築デッキ

14時、構築終了。4マナ以降のボリュームゾーンはいい感じだけど、ちょっと重めかなー。
序盤がしのげるかなー。どうかなー。あとは答え合わせタイム。1勝をノルマに設定。

Round13 Nywenさん 白緑 OO

G1 まあ勝ち。

G2 相手の土地が3枚で止まって勝ち。

Round14 Pengさん 青緑マーフォーク Oxx

G1 まあ勝てた。

G2 山が1枚しかなく手札の《火炎砲発射》が腐って適切に除去をできずに押し合い負け。

G3 負け。相手がバウンスを引いたら返しのフルパンで殴り殺されるよなあ…と警戒して常にブロッカーを2体残して殴りに行ったのが敗因だったかもなあ。

16時になり、次はいよいよ最終戦。

14回戦終了時の順位が掲示された。自分は8-6で144位。何も無いけどもう1勝したいかな。
すでに勝ち越しではあるが目標を「人間相手に勝ち越し」に設定。

ところでここで自分は、またしても**やらか**しました。

14回戦の順位を掲示した横に15回戦の対戦表が張り出されて「5分後に最終戦」という内容の
アナウンスがされたのですが、なぜか自分はこれを「5分後に対戦表を張り出し」と勘違いして、
そのままそこで呆けてツイッターなどしていたのです。目の前に対戦表はすでに張り出されて
いるというのに。そして14回戦の前にも同じように順位と対戦表が同時に掲示されたのに。

15回戦開始のアナウンスと同時に通りかかった白木原さんに「**なぜここに**居るんですか」と
言われて瞬時に事実を掌握し、慌てて自分の座席を確認し、足早に席に移動、着席。

これは遅刻ゲームロスを取られても文句言えないよなあ…ということでジャッジに聞き、さらに
通りがかったジャッジのQ]に確認すると「すぐだったのでゲームロスはなし。ただし1分延長
します」とのこと。助かったあ。対戦相手に謝って、ゲーム開始。

Round15（お名前メモるの忘れまし）さん 青黒赤 OO

G1 まあ勝ち。

G2 相手の土地が2枚で止まって勝ち。

結果的には遅刻ゲームロスを食べらなくても勝てた計算ですが、ともあれこれで9-6でGP本戦終了。もちろん賞品ラインではないものの、自分としてはまずまずの結果だったと言えます。やらかしも多かったけど楽しかったあ！ これで自分にとってのGP香港はすべて終了です。

バッグを会場に置き忘れる

時計を見ると16時半。帰りの飛行機は21時発なので、まだ慌てるような時間ではありませんが、長居する理由もありません。時間を潰すなら空港でというのが鉄則。

このため金澤さんなどに挨拶を済ませてから、今回の楽しさを噛みしめつつ会場を出てただちにタクシーを拾って「九龍駅」を指定します。行きと逆コースですね。

ところがタクシーが高速道路に入る頃にふと気がつく、布バッグがありません。会場の対戦席あるいは金澤さんと雑談をしていた時に、置き忘れてしまったのでしょうか。あちゃー。

たいしたものは入っていなかったように思えたので**そのまま捨てる**ことも一瞬考えたのですが、いやいや、まだ時間もあるのだしそれはない、ということで運ちゃんに「忘れ物をした。KITECまで戻ってくれ」と伝える。すでに車は高速道路に入ってしまったので、そこを出て大回りして戻ります。念のため金澤さんの周囲にバッグがないかメッセージを送るも、空振り。

会場に戻って自分の居た対戦席を覗くも何もなかった。素直にLost&Foundの受付に行き、係員の女性2人に「白い布バッグを忘れた」と言うと、ただちに下から引っ張り出してきました。それですそれですと言うと「何が入っていましたか？」と聞いてきたので「着替え、その他」と答えると無事に渡してくれました。やれやれ、助かったあ。

17時15分、再度タクシーに乗って会場を離脱します。30分のロスタイムとHKD 100の損失。まだ慌てるような時間じゃない。渋滞にあっても1時間もあれば空港に着ける筈だし、飛行機が出るのは21時だ。余裕。あわてないあわてない。ひとやすみひとやすみ。

エクスプレスで荷物の詰め替え

渋滞に遭わずに 15 分ほどでタクシーは九龍駅に着きました。ありがたい。タクシー代 HKD 80。さらに HKD 100 を支払ってエクスプレスに乗車。

帰りの荷物は手荷物の許容 7kg をオーバーしているので、白い布バッグは預けることになります。このためエクスプレスの車内で、荷物を仕分けして機内で必要でないものをなるべく布バッグに移すべく荷物の詰め替え作業を開始することにしました。

今回、コンビニで買って気に入った香港製のスポーツドリンク。800ml で HKD 10 というお値打ち価格なのが実にいい。他のはだいたい 500ml で HKD 13 とかしました。

機内には持ち込めないので飲んでしまいましょう。ごくごく。

そして問題の白い布バッグを開封して中身をチェック。しかし本当にどうでもいい物しか入ってなかったな…メインはこの 2 日ぶんのタオルとシャツとパンツ。少し**臭います**。仕事とはいえ、これを女性スタッフがチェックしたのか…心の中で謝る。さらに香港のエコ本 (P.14 参照) も入っていたことを知る。仕事とはいえ、これを女性スタッフがチェックしたのか…。

基本的には身軽になるべく、PC はリュックに入れ、カードなどほとんどを白バッグに詰めました。



空港でチェックイン

17 時 50 分にはエクスプレスは香港空港ターミナル 2 に着きました。はっやいなー。

まだ 3 時間ほどあるわけですが、チェックインはできたようなのでエアアジアのカウンターへ。カウンターでは例によってミャンマーへの入国ビザを要求されたので、用意しておいたプリントアウトを提出すると、さらに受付係員は手元のスマホを見ながら、なにか考えています。

「どったの？」と聞くと、係員はスマホの規約を見せてくれました。そこには「ミャンマーへの

入国は**帰りのチケット**が無いと許可されない可能性がある」という条項がありました。えっ。まあ「僕はビジネスでミャンマーに入国しているので日本に帰るのは来年ですよ」と答えて無事カウンターを通してくれたのですが、ああもう面倒くさいな。過去に何度も成田のエアアジアのカウンターでうるさかったのは、このためなのかなー。

白バックを預けて身軽になる。ちなみに帰りの荷物重量は12kgほどでした。

そのままイミグレとセキュリティを通過し、18時10分、ゲートへのシャトルに乗車。

201-230 ゲート駅に移動

エアアジアの係員が案内図の用紙をくれる。自分の乗機の正確なゲート番号は出ていないものの、201-230ゲートのいずれかではあるので、まずはここまで移動しろとのこと。このターミナル2からはシャトル2本を乗り換えていかねばならないようだ。広いな香港空港。

シャトルに乗り、10分後には201-230ゲート駅に到着。

掲示板を確認するも、自分の乗機はまだゲート番号が表示されていない。あと2時間半あるからなあ。ここで案内が出るまで待つしかないようだ。

机と椅子のあるカフェに入りライチジュースのペットボトルHKD 15をレジで購入して着席してPCを広げる。これ幸いとまだ片付いていない仕事を進め、小一時間ほど作業を行って（捗った）カフェを出て案内板の前へ。…出発まで2時間を切っているが、まだゲートも決まってないのか。



台風の影響

電光掲示板をよく見ると、かなり派手に多数の機に「遅延」の表示。ああなるほど、日本を横断中の**台風**の影響みたいだなこれは。これらのゲートもまともに決まっていないので、自分の機のゲートも決まっていないということなのだろう。

11:30 発の関空行きの便がまだ出ておらず 20:40 発になっているのを発見。ご愁傷さま。

さらに 18:15 発の関空行きの便が 22:00 発に変更されており、まだ到着していない。これは GP 参加プレイヤーで直撃を食らったひとも居るんじゃないかな…。

自分のバンコク行きの便には遅延表示は出ていないのだが、出発時刻まであと 1 時間。これは、遅延するかなー？ まあ、僕は明日の朝にバンコクを出るので数時間遅れても構いませんが（笑）。

ゲート前で待つ

20 時前、ようやく自分の便の表示が出た。202 番ゲート。よし移動しよう。

202 番ゲートの案内を見ると 20:40 発の天津行きという案内がある。20:40 に天津行きの便を出してから自分のバンコク行きの便を入れ、それに搭乗して 21:05 に出るという意味のようだ。

いやそれ**無理**じゃね？ 慌てて事故とか起こして欲しくないよ。

しかしさすがにそれはなく、20:50 に「204 番ゲートに変更になりました」というアナウンスがあり、204 番ゲートの表示がバンコク行きに変更される。うんそれでいいよ。

しかし自分のバンコク行きの便の出発予定時刻はあと 10 分だというのに、いまだゲートは開かず。さすがにこれは遅延だよなと思っていたら案の定「30 分遅延」の案内。うんそれもいいよ。

結局、21:15 分に搭乗が開始され、自分は 21:30 に搭乗して着席。

バンコク（ドンムアン空港）行き FD503 便は 30 分くらい遅れて香港を離陸しました。

ドンムアン空港で夜明かし（5回目）

22時半、予約した夕食が出ます。チンおじさんのチキンライス。うんおいしいです mgmg。
香港とタイの時差のぶん時計を1時間戻したうえで、何ごともなく3時間のフライトを終えて、
23時40分、ドンムアン空港に到着。さっそく、いつもの無料Wifiに接続します。

ドンムアン空港での夜明かしもすでに5回目。もう慣れました。
明日朝のヤンゴン行きの便は、7時発の予定が7時半に遅延と
いうことでした。まあ、問題ありません。

まずは例の電源のあるカフェに入ってマンゴー・スムージーを
注文して一息つきます。135バーツ。うん、おいしいですね。
さらにPCを起動して小一時間ほど仕事を進めます。



1時半、カフェを出てそろそろ寝支度。
売店で青りんごカルピスを購入。
40バーツ。これはベンチで飲む用。

さらにあまつさえ、このタイミングで「寝る前に腹をふくらませるかな」
などと考えてしまい、マクドナルドでセットメニューを注文。

間もなく午前2時。
デブまっしぐら。



朝7時半の便に乗るのには、ゲート前のベンチで
寝てから、6時半に起きれば十分でしょうかね。
4～5時間は眠れるかな。
ベンチで横になって、就寝。

2017年10月30日（月） ミャンマーに戻る

5時半に目が覚める。3時間寝られたな。ベンチならこんなもんだろう。フライトまで2時間を切っているし、起きてしまうことにする。グラブルで時間を潰すだけのことだし（笑）。

では朝のコーヒーを飲むか…と思ってマクドナルドに行くも、気が付くとモーニングセットを注文してしまう。エッグマフィンとハッシュポテトっておいしいよねー…じゃねーよ。お前4時間前にもマクド飯食ったな？ これからの機内食も予約したな？



マクドめしをすませて6時半にゲートの前に戻ると、7時半に遅延の文字が消えていて搭乗が始まっていた。おっと、危ない。そのまま搭乗し、出発準備と案内を終えて、7時過ぎに機はバンコクを発ちました。

バンコクからヤンゴンへのフライトは、2時間もない短い空の旅です。そして自分はネットで朝食を注文済。すなわち水平飛行に入るなり配られた入国書類を書き7時半には配られ始めた朝食を受け取ります。そして

機内食を前にした今の自分はわりと満腹。うらむフライトが予定より30分早まったのは計算違いだったな…じゃねえよ、どう見てもさっきのマクドナルドが余計だよ。馬鹿ですか俺は。とりあえず開封して口に運ぶも、残念ながら半分以上残す。馬鹿馬鹿俺の馬鹿。

何ごともなく機はヤンゴンに到着。時計を30分戻して7時半。「ミャンマーよ！ 私は帰ってきた！」（別にうれしくないですが）ともあれ、これで楽しかったGP香港も終了です。

(完)



Copyright:Google

通常は、九龍駅⇔会場、宿⇔会場をタクシーで行き来するだけ（水色ルート）だったわけですが、今回は忘れ物で会場を出て戻る羽目になりました（青色点線ルート）。

GP 香港 2017 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2017年12月29日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）